

**三重県高体連ソフトボール競技 県総体兼全国高等学校男子ソフトボール選手権大会県予選会  
兼中日本総合男子ソフトボール選手権大会(高校生)県予選会**

第1日 2019年 6月 1日(土)

開催地: 三重県 亀山市

《1回戦》 球場名: 東野公園ソフトボール場 No. 1

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	試合時間1:12	計	(球審)	
三重県立稲生高等学校	0	0	0	0	0			5回コールド	安打 0	0	尾浦 寛典 (一塁) 田中 元 (二塁) 坂本 守
津西高等学校	1	0	0	6	X				安打 5	7	(三塁) 嶋村 明彦 (記録) 植森 郁夫

(バッテリー)[勝:○, 負:●] 先攻(投) ●神谷 宗一郎 --- (捕) 水谷 良太  
後攻(投) ○川口 瑞希 --- (捕) 児玉 知樹

先攻 (本塁打) \_\_\_\_\_ (三塁打) \_\_\_\_\_  
(長打) (二塁打) \_\_\_\_\_

後攻 (本塁打) \_\_\_\_\_ (三塁打) 小倉 秀斗  
(二塁打) \_\_\_\_\_

(特出記録) \_\_\_\_\_

《準決勝》 球場名: 東野公園ソフトボール場 No. 2

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	試合時間0:56	計	(球審)	
三重県立松阪高等学校	0	0	0	0				4回コールド	安打 2	0	坂本 守 (一塁) 草川 輝昭 (二塁) 米川 宗太郎
三重県立四日市工業高等学校	9	2	0	X					安打 6	11	(三塁) 草河 元敦 (記録) 上瀬 記子

(バッテリー)[勝:○, 負:●] 先攻(投) ●北井 貴一郎 --- (捕) 高倉 伊織  
後攻(投) ○佐野 晃基 --- (捕) 真弓 隼輔

先攻 (本塁打) \_\_\_\_\_ (三塁打) \_\_\_\_\_  
(長打) (二塁打) \_\_\_\_\_

後攻 (本塁打) \_\_\_\_\_ (三塁打) \_\_\_\_\_  
(二塁打) 前田 倫吾

(特出記録) \_\_\_\_\_

《準決勝》 球場名: 東野公園ソフトボール場 No. 3

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	試合時間1:55	計	(球審)	
三重高等学校	4	1	0	1	2	1	6		安打 13	15	嶋村 明彦 (一塁) 尾浦 寛典 (二塁) 田中 元
津西高等学校	0	0	0	2	3	0	2		安打 8	7	(三塁) 米川 宗太郎 (記録) 植森 郁夫

(バッテリー)[勝:○, 負:●] 先攻(投) ○鈴木 惇平 --- (捕) 谷村 涼介  
後攻(投) ●川口 瑞希, 花村 勇佑, 川口 瑞希 --- (捕) 児玉 知樹

先攻 (本塁打) 鈴木 惇平(6回ソロ) (三塁打) 村井 隆英実  
(長打) (二塁打) 橋本 悠矢, 山本 圭亮

後攻 (本塁打) 川口 瑞希(5回3ラン) (三塁打) \_\_\_\_\_  
(二塁打) \_\_\_\_\_

(特出記録) \_\_\_\_\_

**三重県高体連ソフトボール競技 県総体兼全国高等学校男子ソフトボール選手権大会県予選会  
兼中日本総合男子ソフトボール選手権大会(高校生の部)県予選会**

第2日 2019年 6月 2日(日)

開催地: 三重県 亀山市

《決勝》

球場名: 東野公園ソフトボール場

No. 1

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	試合時間1:30	計	(球審)
三重高等学校	0	0	0	0	0	0	0	安打	0	嶋村 明彦
三重県立四日市工業高等学校	1	0	0	5	0	0	X		2	6
								安打		(二塁) 坂本 守
								8		(三塁) 浦野 健二
										(記録) 植森 郁夫

(バッテリー) [勝:○, 負:●] 先攻(投) ●村井 隆実, 鈴木 惇平 --- (捕) 谷村 涼介  
 後攻(投) ○佐野 晃基 --- (捕) 真弓 隼輔

先攻 (本塁打) \_\_\_\_\_ (三塁打) \_\_\_\_\_  
 (長打) (二塁打) \_\_\_\_\_  
 後攻 (本塁打) \_\_\_\_\_ (三塁打) 宮本 尚弥②  
 (二塁打) 真弓 隼輔, 山田 昂輝

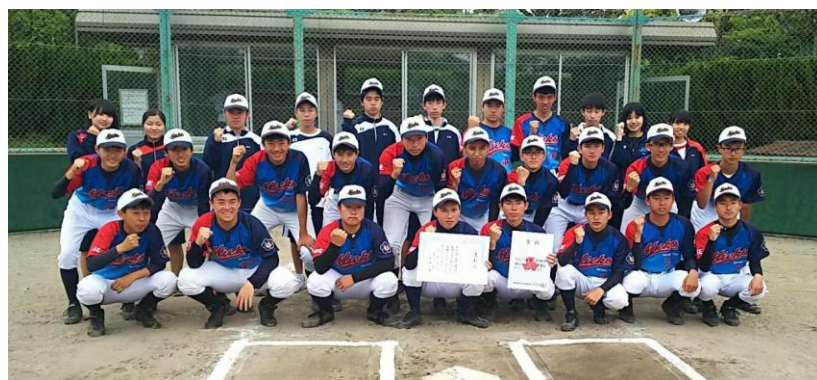
(特出記録)

**【決勝戦評】 三重県立四日市工業高等学校 県総体4連覇!**

四日市工業は初回二死無走者から3番真弓隼輔、4番山田昂輝の連続二塁打で先制し、4回には先頭打者6番横井陸が三塁内野安打で出塁すると、2つのワイルドピッチでホームイン。下位打線が2つの四球などで一死二三塁とチャンスを作り1番山本祐輔の一二塁間2点タイムリー、2番宮本尚弥の2打席連続三塁打などで一気に5点を奪い、投げては佐野晃基投手が8奪三振、被安打2の力投で完封。1試合目から13イニング連続無失点で優勝に貢献した。四日市工業は8月に宮崎県で開催されるインターハイの出場権を獲得した。

三重高校は準決勝13安打15得点と猛打で勝ち上がってきたが、シングルヒット2本に抑えられ強豪・四日市工業の壁は破れなかった。

三重県立四日市工業高等学校→



三重高等学校 ↑